

もし、胃がんが 予防できる病気だったら？

H. Pylori Helicobacter pylori antigen test set

ピロリ菌 尿中抗体検査

ピロリ菌という言葉聞いたことはありますか？

実はこのピロリ菌、胃がんの発生要因のひとつなのです。

胃がん患者のほとんどの人が、この菌に感染しているといわれています。

しかし早期に対処すれば、将来の胃がんのリスクを下げられることがわかっています。

ピロリ菌のリスク検査で抗体を調べることは、胃がん予防の第一歩。

若い従業員の将来の健康を守るために、また健康経営の切り札として、ぜひこの検査をご活用ください。

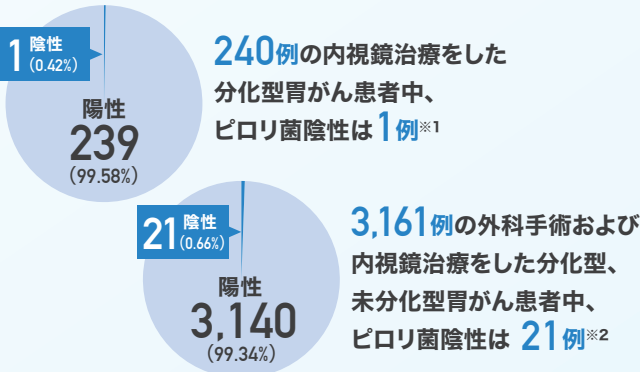


ピロリ菌と胃がんの関係

ピロリ菌は胃がんの発生要因

ピロリ菌は胃がんのリスク要因[※]であることが示されています。胃がんは世界の部位別死亡数でも上位を占める疾患です。胃がん患者では高い確率でピロリ菌が検出されることが報告されています。

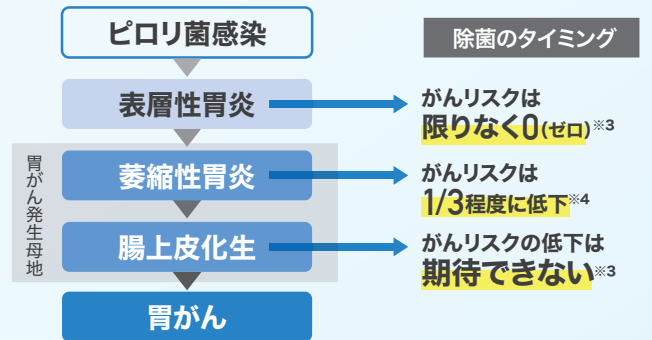
※出典：WHO(世界保健機関)のIARC(国際がん研究機関)胃がん予防戦略としてのピロリ菌除菌に関する報告書



※1 Ono S, Kato M, Suzuki M, Ishigaki S, Takahashi M, Haneda M, Mabe K, Shimizu Y. Frequency of Helicobacter pylori -negative gastric cancer and gastric mucosal atrophy in a Japanese endoscopic submucosal dissection series including histological, endoscopic and serological atrophy. Digestion. 2012;66(1):59-65. ※2 Matsuo T, Ito M, Takata S, Tanaka S, Yoshimura M, Ohayama K. Low prevalence of Helicobacter pylori-negative gastric cancer among Japanese. Helicobacter. 2011 Dec;16(6):415-9

感染から胃がん発生まで

ピロリ菌に感染すると、表層性胃炎から萎縮性胃炎となり、これが胃がんの発生母地となります。さらに進行して腸上皮化生になると、リスクの低下は期待できないといわれています。



※3 Wong BC, Lam SK, Wong WM, et al. Helicobacter pylori eradication to prevent gastric cancer in a high-risk region of China: a randomized controlled trial. JAMA. 2004;291(2):167-174
※4 Fukase K, Kato M, Kikuchi S, et al. Effect of eradication of Helicobacter pylori on incidence of metachronous gastric carcinoma after endoscopic resection of early gastric cancer: an open-label, randomised controlled trial. Lancet. 2008;372:392-397

早めの除菌治療でリスクが減らせる

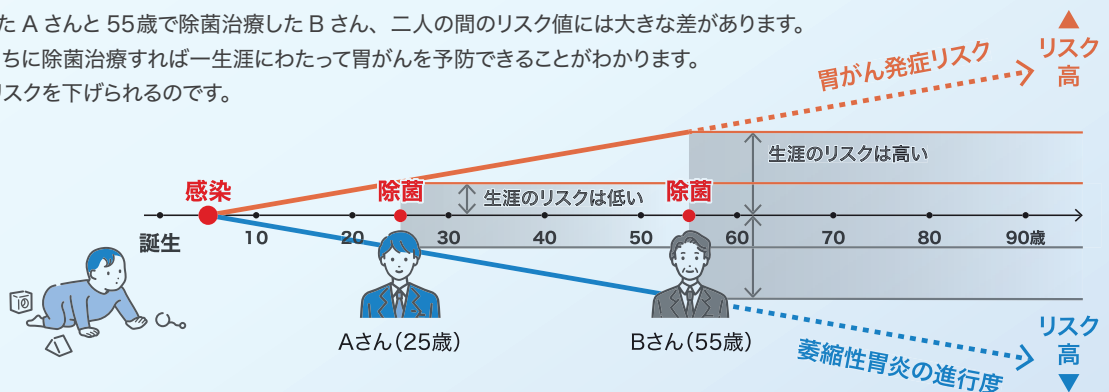
ピロリ菌に感染し、胃炎を患った年月が長ければ長いほど、胃がんのリスクは高くなります。

下の図は除菌治療した年齢によって、胃がんの発症リスクが変化することをあらわしたものです。

25歳で除菌治療をしたAさんと55歳で除菌治療したBさん、二人の間のリスク値には大きな差があります。

この図からは、若いうちに除菌治療すれば一生涯にわたって胃がんを予防できることがわかります。

早ければ早いほど、リスクを下げられるのです。



(+)判定で
胃内視鏡
つき

ピロリ菌尿中抗体検査 + 胃内視鏡検査受診サポート



尿中のピロリ菌抗体の有無を調べる検査と、(+)判定の場合に胃内視鏡検査の受診サポートがセットになったプランです。

対象

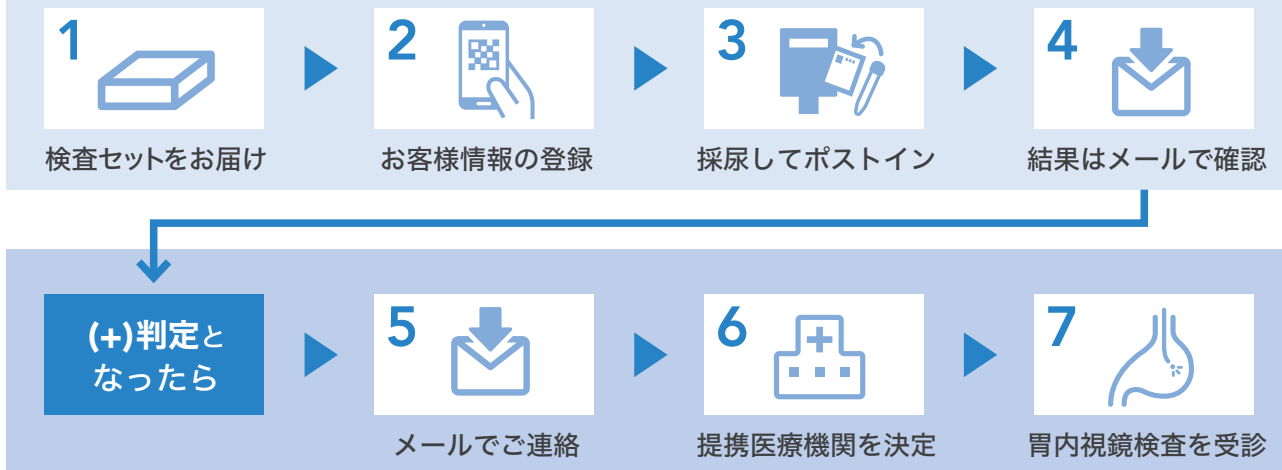
- ・18歳～34歳の方
- ・胃がんに罹患したことがない方
- ・過去に医療機関でピロリ菌検査を実施し、陽性と判定されたことがない方

ピロリ菌尿中抗体検査+ 胃内視鏡検査受診サポート

7,480円(税込)

(+)判定となった場合、全国約330か所の提携医療機関にて胃内視鏡検査をお受けいただけます。
(税込3万円までサポート)

検査の流れ



ピロリ菌
検査のみ



ピロリ菌尿中抗体検査

ピロリ菌抗体の有無を調べるシンプルな検査プランです。

対象

- ・全年齢の方

ピロリ菌尿中抗体検査

4,480円(税込)

検査の流れ



注意事項

- 以下に該当する方は胃内視鏡検査受診サポートの対象外となります
 - ・現在胃がんに罹患している方、または過去に胃がんに罹患したことがある方
 - ・過去に医療機関でピロリ菌検査を実施し、陽性と判定された方、または陽性と診断され除菌治療を行った方
- 当検査の限界
当検査では、泌尿器系の疾患、感染症の罹患、血尿などを伴うその他の症状のある方では、正しい測定結果とならない場合があります。

また、何らかの症状の確定診断に用いることのできる指標は含まれておりません。また、生体由来成分とは異なる異物に該当するものが混入していた場合、外部要因による尿検体の変性等が生じた場合にも、正しい結果が得られない場合があります。

- 免責事項
本検査はピロリ菌感染、胃腸症状、胃がん、その他の症状に関する診断・確定ができる検査ではありません。



プリVENTメディカル株式会社

東京都中央区日本橋小舟町9-18 エミナント人形町ビル4F <https://preventme.co.jp/>